

ぱる通信

地域精神保健福祉コミュニティ誌

6

/ 01

JUNE 2010 No. 154

◎特集

あすなろ福祉会の就労支援



『ぱるスペースMOMOシェフ』 吉田 優

ぱるスペースMOMOのシェフとして勤め10年余り。これまで毎日「日替わりランチ」を提供してきた。『ここにたどり着くまで、色々なことがあった』と振り返る。20代のほとんどが、入退院の繰り返し。『今の仕事は自分にとっての誇り。もちろん、しんどいときもある。しかしそこを乗り越えたら、次に進める一歩になっていく。少しづつ自分が成長している』。ランチタイムには気軽にお客さんに声を掛け、多くの方に親しまれている。『見守ってくれるお客様、メンバー、スタッフなど、色々な人に支えられている。お客様の笑顔で元気になれる。メンバーが僕に勇気を与えてくれ、僕の活力になっている。MOMOに来れば元気になる、そんな場所です』。

あすなろ福祉社会の就労支援

『自分らしい生き方』を応援する

あすなろ福祉社会が誕生し15年。今まで多くの方と出会い、『楽しく意味のある生活、自分らしい生活を送る』ために、利用者の方々と摸索し、共に歩んできた。

特に最近5年間は、「働く」とに対する支援に力を入れて

きた。「働く」と、社会や地域とのながり、リカバリーにつながる』ことを実感している。

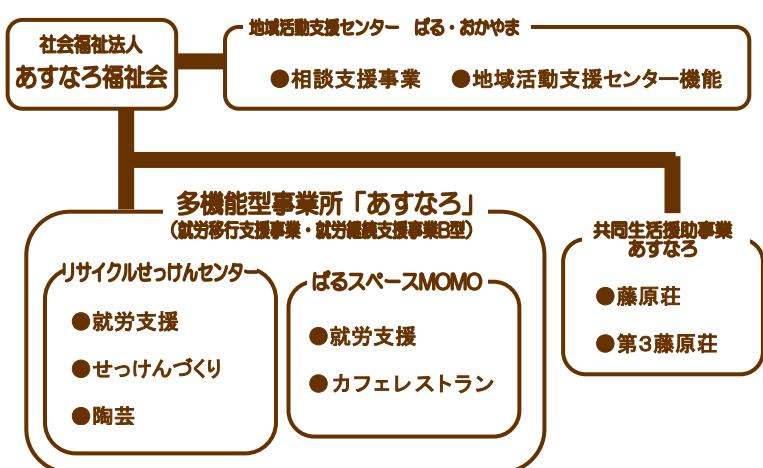
これまでの就労支援の取り組みについて紹介したい。

あすなろ福祉会誕生

1984年、岡山市で共同作業所を開設して以来、共同生活住居の運営と合わせ、精神障がい者の地域における生活支援の試みを実践してきた。

1995年、市民の支援を得て社会福祉法人を設立し、「リサイクルせつせんセンター」「ぱる・おかやま」の事業認可を得て、同年秋に家族会運営の作業所、「ぱるスペースMOMO」が開設され、同時にグル

あすなろ福祉社会の就労支援



就労支援の取り組み

2004年、「改革グランードデザイン案」の発表を受け、施設体系・事業体系の見直しを行った。

当時、授産施設であった「リサイクルせつせんセンター」で「就労移行支援事業」を想定し、プレ就労プログラムを実施している。プログラムの内容は、「リサイクル事業」を行う事業所に協力を頂き、「リサイクルせつせんセンター」から就労を希望するメンバーが出向し、就労のためのトレーニングを行うというものだつた。

訓練当初は利用者も意欲的に取り組んでいたが、中にはだんだんと意欲・動機を失うメンバーも出てきた。いくら訓練の場で経験を積んでも、働く形態や仕事内容は多種多様である。就労支援の在

現在では、障がい者自立支援法の体系へ移行し、「多機能型事業所あすなろ」(リサイクルせつせんセンター・ぱるスペースMOMO)、「地域活動支援センターぱる・おやま」、「共同生活援助事業(グループホーム)あすなろ」の事業所運営を行っている。

「働きたい」気持ちにすぐに応える

I.P.S (Individual Placement And Support) 「個別職業紹介とサポート」については、「ぱる通信」でも紹介したが、1990年代にアメリカで開発され、働き手助けするプログラムである。

これまでの就労支援の在り方は、本人の課題を見つけ、それを訓練してできるように取り組んでいくことになりました。しかし

I.P.Sモデルでは、「『働きたい』と希望する方は、迅速に求職活動を始め職に就いた方が、効果的である」という考えに基づいています。

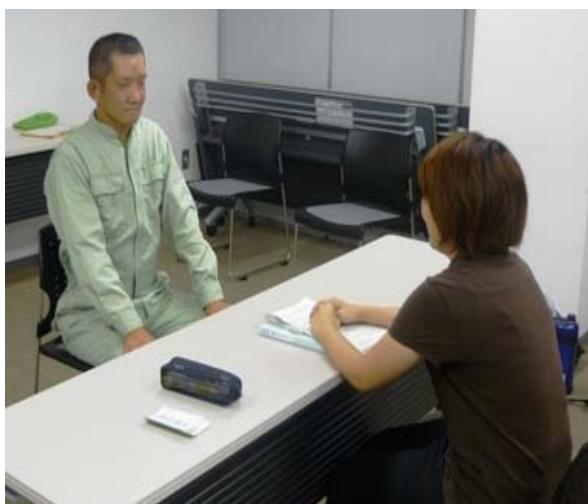
しかも、症状の重さに関係なく、本人の長所、やりたいことを最大限に尊重することが重要だ。

まずはスタッフの、「準備が整った人でないと、就労は無理」とい

り方について摸索していたところ、アメリカのI.P.Sモデルの存在を知った。

2005年、アメリカでI.P.Sモデルの研修を受け、帰国後全スタッフで共有する中で、様々なことが見えてきた。

あすなろ福祉社会の就労支援



就労セミナーでの面接練習の様子

う考えを捨てることからスタートした。「どんなに症状が重くても、『働きたい』という意欲と、必要なサポートがあれば、誰でも働くことができる」ということを大切にして、新たな支援がスタートしたのだった。

積極的な職場開拓

実際の支援は、利用者が「働きたい」と思った時点から開始される。これからどんな人生を送りたいのか、今後の目標、希望を確認し、これまでの職歴、希望する仕事内容、条件などを整理していく。

実際の職探しは、ハローワークで、他の人にマッチングする可能性もあり、予想外の財産もあつた。

や求人誌、職場開拓により希望の仕事を見つけられるようサポートを行う。IPSモデルの就労支援のポイントは、仕事のマッチングにある。本人の希望や長所を活かした仕事に就くことで、リカバリーの手助けになるのだ。

地元企業と連絡を取り、積極的に職場開拓を開始した。企業と交渉することで、よりその方に合った職場環境を整えることができるのだ。企業の持つニーズを知ることで、他の人にマッチングする可能性もあり、予想外の財産もあつた。

2008年、「障害者自立支援法」の体制に移行し、現在では「就労移行支援事業定員18名」「就労継続支援事業定員20名」「多機能型事業所あすなろ」としての運営を開始した。

2004年には5名だった就労者が、2009年には20名に増えている。最近では、雇用率に

就労者数が急増

トを続けていく。更に、定着後も本人や企業の不安に適時対応し、定期的に職場訪問なども行っている。

多くの人が、人とのコミュニケーションを重視し、様々な活動を行っている。「精神障がいのある方が、人としての誇りと自信を回復し、何よりも自分の希望・要求・意思に基づいて、人に気兼ねすることなく、自分らしい人生を歩んでいける」ことを目指しサポートを続けている。

「働くことがリカバリーにつながる」ことは就労している方の表情からも伝わってくる。利用者の方が既に持つ強み、これから可能になることを信じ、「自分らしく生きていく」よう、支援を続けていきたい。

夢・希望を持つて自分らしく

採用後も仕事に慣れまで「職業センター」や「あすなろのスタッフ」がジョブコーチとして職場に入りサポート



アメリカ訪問時、ストレンジスモデルの提唱者「チャールズ・ラップ」氏から頂いた「リカバリーの木」ポスター

法人理念のキーワードとして
Recovery&Support&Hope (リ

企業訪問

オハヨー乳業株式会社は、1953年（昭和28年）に設立されて以来、「ひとりでも多くの皆様に、気持ちを込めた『おいしさ』で笑顔をお届けしたい」という企業理念のもと、「おいしさ」にこだわり、追及を続けてきました。

本社工場は、岡山市中区神下にあり、全国7か所に支店、11の営業所、本社工場を含め全国に3か所工場がある。

「商品には、かなりこだわりを持つています。例えばフルツヨーグルトには、他企業であれば、ジャムを使ってヨーグルトに入っている場合もあります

が、自社の場合、本物のフルツを使っています。生のイイチゴを直接農園から仕入れ、高い技術で殺菌を行っています。素材そのもののおいしさを届けることができるよう、こだわりを持っています」

そう語るのは、本社工場、総務部人事担当の千葉智之さんだ。「これまで障がい者雇用を行う話にも関わらず、話し合いの場を設けて頂き、面接、採用へと至った。

「これまで障がい者雇用を行う場合、ハローワークからの紹介がほとんどでした。今まで福祉施設とはつながりはなかったのですが、初めてこのような形を取りました」

仕事を続けていく中で出てくる不安や悩みなどに対し、幾度となく話し合いの場を設け、仕事内容、仕事時間の調整など、柔軟な対応をして頂いている。

現在本社工場には、9名の障害者を採用しており、清掃、工場内の製造、事務など様々な職務に就いている。

オハヨー乳業株式会社とあすな福社会との出会いは、今から3年前、職場開拓を行ったため、電話を入れさせてもらつた



オハヨー乳業株式会社 総務部
千葉 智之さん

障がい者雇用促進に向けて

【オハヨー乳業株式会社 会社概要】

■ 設立 昭和28年6月29日

OHYO
オハヨー乳業株式会社

■ 従業員 665名

■ 本社 岡山市中区神下565

☎ 086-279-1231

ことで得られる安心
支援者がいる

障がい者雇用を行っていく中で感じていることについて伺つた。「一番難しいと感じたのは、コミュニケーションの部分でしょうか。私達が感じている以上にナイーブな方もおられ、接し方について判断に迷うことがあります。間に支援者の方が入って頂いて助かっている部分が大きいですね」

採用面接でのポイント

人事採用にも携わっている千葉さん。面接で重視しているポイントについては、

「食品メーカーなので、まじめに誠実に仕事に取り組んで頂ける方を求めています。私たちは腐りやすい牛乳という商品を扱っていますから、そのような商品を取り扱う気持ち、心構えを持つて頂ける方がいいですね」

面接を受ける際には、その企業の事業内容、それに伴いどんな人材を必要としているのか知ることが重要だ。

更に面接場面では、「どういう

企業訪問 ·



オハヨー乳業株式会社 社員
峠元 由紀さん

清掃業務の仕事に携わり
3年半になりました。仕事を
始めた頃は、「長く続けられ
るだろうか?」「仕事を覚え
られるだろうか?」と不安で
した。しかし、仕事が分から
ない時には、職場の先輩が丁
寧に教えてくれ、とても働き
やすい職場です。

仕事上の悩みが出てきた
ときは、話し合いの場を設け
て頂き、解決することができ
て頂きました。仕事にとて
も満足してます。

これからは、更に新しい
仕事内容にも挑戦していく
たいです。今の仕事にとて
ています。職場に相談でき
る相手がいるということも
大きいです。

人柄なのか」を知り、会社側が求めて いる人材と本人の希望が上手くマッチングできるよう、今までの職歴について一つずつ確認をしていく。当然退職した理由についての質問もある。

「答えたくない部分についてもあるのではないかと思うのですが、お聞きしないと分からないうえにあります。『給料が安くって辞めた』ということであれば、『うちも残念ながらこのような条件ですが大丈夫ですか?』とお聞きします。マッチングが上手くいくためにも必要な作業で

**志望動機は
自分の言葉でアピール**

面接場面ではマナーを踏まえ、行動や態度が基本だが、あまりに模範解答ばかりでも良くない。自分の言葉でのアピールが重要となりそうだ。

自分自身の今までの経験・技能など、その企業で生かすことができるること、逆に苦手なことを整理していくことが必要だ。

「企業」を知ること以上に「自分自身」について知ることが大きなポイントになりそうだ。

最後に、これから障がい者雇用を促進していくために必要なことを伺った。

ることができます。志望した理由は、そのまま素直に言って頂いた方がいいんですよ。採用に至らない方というのは、面接でその方がどんな人柄なのか見ええてこない。その方の素が出て初めて、人柄や性格を知ることができます。あまり取り繕う必要はないですよ」

『自分は...』などいふことがで
ます』『しかしこの部分についてき
は苦手だ』という点についてき
つちり伝えていくことが必要だ
と思います。面接では、企業が
求めている人材と上手くマッチ
ングできるかどうかということ
を検討していきますので、それ
らのことを『伝えていく』ことはヒ
トでも大切です』

度などを積極的に利用したいと
いう気持ちがあります。ご本人
が企業側に伝えにくいことも、
身近な存在の方には伝えやすい
ということもあると思います」

今後の障がい者雇用について
「工場内の作業環境を整え、製
造業務に障がい者雇用を拡大し
ていきたいと思っています」と
今後の目標について語ってくれ

『リサイクルせっけんセンター』

事業内容 就労移行支援事業／就労継続支援事業

住 所 岡山市中区浜475-5

TEL 086-273-9692



あすなろでは、一人一人の希望
を大切にした支援を行っています。

一番は「働きたい！」という気持ち

精神病院に20年入院した経験がある63歳のAさんは、「働きたい！」という強い気持ちを持ち続け、一般就労することができました。仕事に就く事も、仕事を続ける事も、「働きたい」という気持ちがあつてこそです。「働きたい」という気持ちと、それを応援してくれる周囲の人の支えさえあれば、就労は可能なのです。

自信を取り戻せる場を目指して

働きたいけど自信がないという方もたくさんいます。あすなろでは、本人の興味や関心、良い所や得意な事を見つけ、力を発揮してもらうことで、自信を取り戻せるような場作りを目指しています。



小林 幸代

これから可能性を信じて

メンバーの皆さんの個性、生活習慣、今後の夢etc 実に様々で、日々の関わりの中でも新しい発見がたくさんです。無口でおとなしいイメージの利用者の方が外勤作業で炎天下の下、黙々と機械の分解作業に取り組まれていて、「こんなたましい一面があつたんだ」と驚かされたり、スポーツで生き生きと活躍する姿に尊敬させられたり・・・みなさんのことを探れば知るほど、その先の可能性を考えます。

『私達は利用者の皆さん自分が自分の方で回復していくためのお手伝いをする』ということを大切に

思いました。あすなろでは、スタッフの思いを押し付けすぎないよう、今できることよりほんの少し先を目指して一緒に頑張っていきたいです。



塙田 和恵

「働きたい！」気持ちを支える

先日ある研修に参加させてもらいました。それは、「障がいがある方で仕事が継続している人と継続していない人の違いは何ですか？」という調査です。それは一体何なのか？年齢？性別？障がい種別？否、それは「意欲(やる気)」だそうです。つまり、年が若からうが、男性であろうが、女性であろうが、そんなことは全く関係なく、「働きたい」、「働き続けたい」そう強く思っている人が仕事を継続しているという結果がでたそうです。

思い返してみると、あすなろ卒業して就職された方は、全員が「働きたい」と強く希望されていましたが、たったと思ひます。これからも「働きたい」と希望される方の力になれたらと思つています。



亀山 正喜

『ぱるスペースMOMO』

事業内容 就労移行支援事業／就労継続支援事業

住 所 岡山市北区内山下1-15-7

☎ 086-801-2771



「夢」を叶えませんか？

「新しい事への挑戦」には、「夢」と「期待」がたくさんある一方、経験のない程の「不安」や「失敗」があるのは当然です。私自身、未だに「失敗」や「しんどい事」がたくさんあります。でも、「あすなろ」から一步踏み出した利用者の「笑顔で働く姿」を目にしたり、「辛いけど、辞めたくない！」という言葉を聞いたりする度、勇気づけられ、励まされています。

ココには、「どんな時」でも、「どんな自分」でも受け入れてくれる「仲間（利用者＆スタッフ）」がいます。その仲間の「頑張っている姿」から、「自分もちょっとチャレンジしてみようかな…」という気安」を持った「仲間」にも「小さな勇気」を与えられる存在になれと思っています。一緒に、「夢」を叶えませんか？



阿部 晴

「達成感」から得られる自信

MOMOで働き始めて半年が経ちました！

帰りのミーティングでは、「千切りが上手にできたのでまた頑張りたい」「お客様がたくさん来てくれると体はしんどいけど元気がでます」など、接客や料理の盛り付けのアイデアなど意欲のある意見もでています。やる気や達成感は仕事の楽しさにつながっています。

MOMOでは、利用者一人一人のペースと希望に沿った作業内容を心掛けています。作業を通して、『仕事に関する難しさ』、例えば『時間を守る』『臨機応変に動く』『人間関係』など、『楽しさ』、例えば『仕事をきちんとこなす事ができた』などの経験を、一般就労への励みや自信につないでいたいなと思います。



志茂 みさき

「リカバリー」を応援

「働きたいけど自信がない」「自分にどんなことができるのか分からない」、そういうふた思いに、「せっけんセンター」や「MOMO」という場所での活動を通じて、自信を回復し「働きたい！」という一歩が踏み出せる応援をしていきます。そして、「やりたい仕事」を実現に向けていくために、「夢」や「希望」を聞くことから始まります。

就労していく利用者は、働くことで色んな人と関わりを持つようになり、他者とのつながりができ、それらを通して自分の存在意義を確認できるということを実感しているようです。

これからも「あすなろと出会えてよかつた」という利用者が一人でも増えるよう、一人ひとりの「リカバリー」を応援します。



杉原 直義

よっぱのクローバー

だより

…ひとりぼっちをなくそうよ…

■編集・発行 ピアソータークローバー

☎086-271-5689

平成22年6月1日 No.5

活動報告

(4/21~5/20)

- 活動日15日(水・木・金は半日)
- 電話相談 46件
- 交流室利用者 延べ126名
- 家事援助 5件
- 弁当配達 12回



つどいの一場面↑

■第8回つどいを開催

5月12日（水）「第8回つどい」をばる・おかやまで開催しました。今回は前回のテーマ「人とのかかわり方、人付き合いについて」に引き続き、対人関係に関する内容でした。参加者は9名で、各々の思いを語り合いました。出た意見として「苦手な人はみんなそれぞれ存在する」、「社会に出て仕事をしていた時に苦手な人がいた」など、生活をする中で出会っているようでした。

具体的に苦手な人として、「歳の差が開いている人」「自分と世界が違う人（趣味やテンション、価値観など）」「自分の価値や意見を

した。今回も前回のテーマ「人とのかかわり方、人付き合いについて」に引き続き、対人関係に関する内容でした。参加者は9名で、各々の思いを語り合いました。出た意見として「苦手な人はみんなそれぞれ存在する」、「社会に出て仕事をしていた時に苦手な人がいた」など、生活をする中で出会っているようでした。



今回のテーマは「苦手な人の付き合い方」

押し付けてくる人」「コミュニケーションが取れない人」等が挙げられました。「自分では気付いていないが、苦手な人は自分と似ているのではないか」という意見もありました。

その

ような人と付き合う方法として「近すぎず遠すぎず、適当な距離を置いて付き合っている。それをコントロールするのが難しい」また「第三者に相談をしてアプローチしていくのもひとつ手段」、「自分が苦手だと思っていると相手も同じように思っている」とが多い。苦手意識を持つとますます苦手になるので、その人の良い所を探したり、少し違う視点からみることも有効かもしれない。「自分の思い込みからきている」ともある。」など挙げられました。

参加しての感想として「自分だけじゃなくみんな同じということが分かつてホッとした」「みんなと話ができる元気がもらえた。自分は自分でいいと思えた。」など熱い語り合いの場となりました。

次回は6月16日

(水) 13時半~

「将来の夢、これから目標について」

がテーマです。

みなさん気軽に参加してください★ そして語り合いましょう！



次回は
6/4

「おっぱいバレー」

を観賞します。

日時:6月4日(金)14時

場所:ばる・おかやま 1階

詳細はお電話下さい★

movix ばる

ばるで映画を見よう、語ろう！

観たい映画を募集中♪♪♪

●観賞者の総合評価
3.6★★★でした(5つ星のうち)

●感想
「みんなと観る楽しさがあった、感動も倍増した。「お菓子のポップコーンがおいしかった。」などなど楽しめたようでした♪



ばるで映画上映会

5月6日、第1回映画上映会「movix ばる」を開催しました。新しいなつたばかりのテレビで、「BALLAD」名もなき恋のうた」をの名で観賞しました。



講演活動をしてきました。



5月13日旭川庄厚生専門学校で精神保健福祉士を目指している学生を対象に「コンシューマーとして精神保健福祉士に望むこと」という内容で、クローバーのメンバー2名、ぱるスペースMOMOのコンシューマースタッフ吉田さん、スタッフ1名で発表をしてきました。

【発表者のさんの感想】

雰囲気に緊張してしまいましたが、学生さんは真面目に聞いて下さり、いい刺激になりました。また同じメンバー同士の普段聞けないようなお互いの病気のことや、思いを聞くことができ、理解が深



発表をしている様子↑

■コンシューマーとして精神保健福祉士に望むこと

ほしい、友達のようにいてほしい」として精神保健福祉士に望むことを伝えました。吉田さんは「相手は自分よりも年上の人が多いだろうから人生の先輩として接してほしい。」同じくピアソポーターのYちゃんは「病気はあまり上り調子によくならないので、ひどい状態になつた時もあきらめずに長い目で見てほしい。支援者として『仕事をする!』という姿勢ではなく、料理やスポーツのレクレーションと一緒に楽しむことができたら良いと思います。コンシューマーに何かをするのではなくて、一緒にすることに私もうなづかされました。

■学生さんのコメントを紹介します



た。時間もだいぶ押してしまったのですが、学生さんは真剣に聞いて下さり、コメントシートにびつしりと感想を書き込んでくれ、嬉しく読ませていただきました。嬉

まつた気がします。コンシューマーとして精神保健福祉士に望むこととして、私は「人として扱つて接してほしい。」あなたの今までの経験、病気の苦しみ、生活上の困難など自分の想像を超えるものがが多く衝撃を受けました。P.S.W.に望むことについての話も心に響きました。「一人の人としてみてほしい」「温かい目でみてほしい」「長いスパンでみてほしい」「受身で共にがんばってほしい」みさんがこれまでの経験の中で「ワーカーに対して、また周囲の人々に感じた気持ちであり、自分たちに「こんな人になって欲しい」という思いを込められたメッセージだと思いました。そんなワーカーになれるよう今後さらに勉強をしていこうと思います。

■今日は、貴重なお話をありがとうございました。今まで体験や感じた思いをひとつひとつ

に成長…」この言葉がとても嬉しかつたです。こうしてお話を聞かせてもらえる機会を与えて頂き本当にありがとうございます。

募集中！

あなたの体験を語りませんか？

あなたの今までの人生の経験、今、がんばっていることを語ることで励みになる方、元気になる方がたくさんいます。

クローバーはリカバリーを広める活動をしています

相談電話

よろしくお願ひします！気軽に
下さいね。

■今月の相談電話の受付時間

火曜日	10時～17時
水曜日	13時半～17時
木曜日	10時～13時半
金曜日	10時～13時半

相談TEL番号
(086)2715689

話して下さり大変勉強になりました。まだまだ勉強を始めて日も浅く不安もありますが、どうしたら双方がよりよい関係に、自分らしく共に生活をしていけるのか手探り状態です。今は教科書やネットでは得ることのできない『生の声』が私にとってはこれから勉強していく中で励みになりましたし、目標しているP.S.Wとしての一番大切な根っここの部分になりました。「一緒に考えて一緒に成長…」この言葉がとても嬉しかつたです。こうしてお話を聞かせてもらえる機会を与えて頂き本当にありがとうございました。

ぱるっこに聞いてみました。

ぱるっこ広場



私の好きな歌・思い出の歌

- ・キロの「Best Friend」
- ・ユニコーン「おかしな一人」
- ・昔好きな人を想いながら聴いていたから。
- ・「恋」松山千春が好きだから。
- ・柏原芳恵「春なのに」高校の謝恩会の時で歌った思い出の曲。
- ・「魔王」「クレイジー」
- ・「瀧月夜」「冬景色」小学校の時から歌いながら帰ってきてメロディと歌詞が大好きでした。しみじみと幸せになりました。
- ・ミスチルの「未来」
- ・浜崎あゆみ、倖田くみの歌。ヒルクライムの「春夏秋冬」元気がでます。勇気つけられる。
- ・スピッツ「ロビンソン」心が癒されます。
- ・本田みな」「藤あや」「寐寐寐」良い気持ちになる。

- ・イーグルスの「ホテル・カリブオーリー」ア。イーグルスのポスターを部屋に貼った。
- ・神田川」初めて音楽に田舎めの歌だから。
- ・彼の「カブトムシ」聴くたびに初恋の甘い気持ちがよみがえります。
- ・H.Yの「あなた」
- ・「仰げば尊し」高校卒業時学友と共に歌った歌。これから社会人として船出をしようとする不安を覚えながらだった。この時にもらつた1冊のバイブルが自分の人生を支えるものになつた。今から思うと教師の愛情を思い起す今日この頃である。

自分の主治医に一言！

- ・さつぱりしていいホツとします。
- ・わひと面田いこと語り合へ!
- ・今まで充分。
- ・今思ひます。
- ・いつもありがとうございます。
- ・そろそろ引退して下さい。
- ・ちゃんと話を聞いてくれて、違う所はちゃんと反応してくれます。
- ・H.Yの「あなた」
- ・「仰げば尊し」高校卒業時学友と共に歌った歌。これから社会人として船出をしようとする不安を覚えながらだった。この時にもらつた1冊のバイブルが自分の人生を支えるものになつた。今から思うと教師の愛情を思い起す今日この頃である。
- ・もう少し話を長く聞いてほしい。
- ・もつとちゃんと診察をしてほしい。
- ・あまり信頼できない。
- ・よく話を聞いてくれる先生です。もう4年の付き合いです。毎日お勤め御苦労さまです。
- ・僕は家で頑張るつと懶つと心がしんどいことを先生に伝えている。ただ診察時間が3分しかなく短いので長くしてほしい。
- ・ガンバッテ結婚を!
- ・いつもありがとうございます。
- ・いつも元氣でいて下さい。

やや期待度は低めですがみんなで応援しましょう！

ぱるっこ
の期待度
31%

20%
なんと決勝トーナメントにいて下さい。

サッカー・ワールドカップ岡田ジャパンに一言と期待度は何%？

感想・投稿 募集中!
今思っていること、ぱる通信の感想、詩、俳句、絵、ジャングル不問です。郵便、メール、fax等でご投稿ください♪お待ちしております。

INFORMATION

6月活動予定

1	火	陶芸教室	13:00～
2	水	パソコン教室	14:00～15:00
3	木		
4	金	ちぎり	
5	土	ギターサークル	10:30～12:00
		パソコン教室	11:00～12:00
6	日	「ぱる」休み	
7	月	「ぱる」休み	
8	火	陶芸教室	13:00～
9	水	パソコン教室	14:00～15:00
10	木		
11	金		
12	土	パソコン教室	11:00～12:00
13	日	「ぱる」休み	
14	月	「ぱる」休み	
15	火	陶芸教室	13:00～
16	水	つどい	13:30～15:00
		パソコン教室	14:00～15:00
17	木		
18	金	ボーリング大会	
19	土	ギターサークル	10:30～12:00
		パソコン教室	11:00～12:00
		お抹茶教室	14:00～
20	日	「ぱる」休み	
21	月	「ぱる」休み	
22	火	陶芸教室	13:00～
23	水	パソコン教室	14:00～15:00
24	木		
25	金	もも太郎杯 岡山ドーム	
26	土	家族会総会 「ぱる」休み	
27	日	「ぱる」休み	
28	月	「ぱる」休み	
29	火	陶芸教室	13:00～
30	水	パソコン教室	14:00～15:00

- 陶芸教室 (場所:せっけんセンター)
- ソフトボール (場所:百間川グラウンド)
- パソコン教室 (場所:ぱる・おかやま)
- お抹茶教室 (場所:ぱる・おかやま)
- ギター教室 (場所:せっけんセンター)

イベント案内

16(水) つどい 「将来の夢、今後の目標」

「将来の夢、今後の目標」というテーマで自由に自分の意見を伝えます。「言いつ放し・聞きっぱなし」が原則です。

場所 ぱる・おかやま 1階
時間 13:30～15:00

18(金) あすなろ福祉会 ボーリング大会

年1回の恒例行事。今年も盛大に行います。豪華景品を目指して盛り上がりましょう。

参加費 300円
場所 フェアレーン
時間 15:30～18:00

25日(金) もも太郎杯 IN 岡山ドーム

岡山市内の病院などの関係機関のソフトボールチームが4月30日のリーグ戦を戦い、最終順位を決定する大会です。アスナローズも総合優勝をかけて参加します。

場所 岡山ドーム
時間 9:00～16:00

26日(土) あすなろ家族の会 総会

1年に一度の家族会総会を行います。家族会活動報告、あすなろ福祉会活動紹介、報告を行います。家族との交流もありますので、ぜひご参加下さい。

場所 せっけんセンター
時間 13:30～16:00

毎週火曜日 13:00～
毎週火曜日 15:30～
毎週水曜日 14:00～
毎週土曜日 11:00～
19日 14:00～
第1、第3、土曜日 10:30～

あきらめないで一歩一歩 前に進んで欲しい

あすなろ家族の会会長

小森 清子さん



私の娘は現在30歳。高校1年生の17才までは、毎日学校に通い、普通の人生を送っていました。それが、学校が台風で休校になって以来、ピタッと行かなくなり、それから1年後に発病しました。

最初の病名は心因反応でしたが、1年後、統合失調症の診断を受けました。

発病してから数年間は、入退院の繰り返しで、親子共々、暗い暗いトンネルの中にいました。

ようやく光がさしたのは、「ぱる・おかやま」のソフトバレー・ボールに、娘と参加したことからでした。それまでは学校にも行かず、閉じこもり気味だった娘に変化が出てきたのです。

「バレーに参加している利用者さんは、みんな同じ病気を抱えているのにも元気で、はつらつとしている。この病気があってもこんなに元気でやれるんだ！」

そこから少しづつ自信が出てきて、バレーをしながら職親制度を利用し、働きはじめました。現在では、役場の保健師さんの協力も得て、「観光農園」で働いています。

そして、職場で知り合った男性と昨年結婚して、現在では2人での生活を送っています。

私の娘は現在30歳。高校1年生の17才までは、毎日学校に通い、普通の人生を送っていました。それが、学校が台風で休校になって以来、ピタッと行かなくなり、それから1年後に発病しました。

最初の病名は心因反応でしたが、1年後、統合失調症の診断を受けました。

発病した当時は、この子の人生をすべて受け止めて、抱きかかえて生きていこうと思つていました。しかし今では、「私が死んでからもこの子の人生は続いていく。私がいなくなつても生きていけるように育てやるのが究極の子育てだ」と感じています。

最近では、副作用の少ない薬も増えてきました。薬がきちんと合えば必ず良くなつていくと思います。主治医と相談しながら、色々な薬を微調整し、本人にぴったり合う薬に出会うことで、大きくその後の人生が変わつてくると思います。

みなさんもあきらめないで、時間がかかるかもしれないですが、一步一歩前に進んで行ってください。

今後は、会長として家族会に携わり、自分に何ができるのかと常に考えています。自分の仕事を生かし、当事者の方々が働く場所を作りたいという夢もあります。

今まで辛いことがたくさんありましたが、いつまでも思い出していたら前には進めません。「落ちるとここまでいったら、あと怖いものはない！人生一度きりしかないので、楽しいことをしよう！」というのが私のモットーです。



[表紙写真の吉田さんと小森さん]

小森さんは、吉田シェフが作る「日替わりランチ」を目当てに、娘さん夫婦と一緒に何度も食事を楽しんでいる。娘さんの結婚式の打ち合わせの場としてもMOMOの場を利用したと話してくれた。

[編集後記]

就職はゴールではありません。むしろ、仕事人生の始まりでもあります。しかも次々とハードルがやってきます。日々の仕事の中で対処法を身につけていきたいですね。(井手)